

平成 26 年度

運営に関する計画

中間反省

大阪市立長吉中学校

1. 学力の向上

(1) 授業研究を伴う校内研修の充実

(2) 各教科

・国語 ・社会 ・数学 ・理科 ・音楽 ・美術 ・技術家庭科 ・英語教育の充実

(3) 自主学習習慣の確立

(4) 読書活動の充実

2. 道徳心・社会性の育成

(1) いじめ・問題行動への対応

(2) 人権を尊重する教育の推進

(3) 道徳教育の推進

(4) 特別支援教育の充実

(5) 体験的学習の充実

(6) 美化・環境整備

3. 健康・体力の保持増進

(1) 体育的活動の充実

(2) 体育科の授業の充実

(3) 健康的な生活習慣の確立

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校が取り組むべき根本課題は低学力の克服である。様々な背景を抱える生徒達が、学校は楽しいと感じ、その学校でいきいきと意欲的に学び、生き抜く力をつけられるように、本校の教育を進めていかねばならない。合わせて、家庭での学習習慣・生活規律が確立できるよう指導していく必要がある。そのための中期目標に基づいた平成25年度の年間取組は、概ね順調に進めることができた。

各取組内容のうち一部は目標を上回り、さらに充実した内容とすることができた。特に、大きな役割を果たしたのは次の2点である。

- ① 授業改革の取組
- ② 生徒が輝く活動を支援する取組

この2点の取組の内容と成果はそれぞれ次のようにまとめられる。

- ① 研修担当（首席）を中心とした「頑張る先生支援」事業を活用することで、先進的な授業改革に取り組む学校視察と伝達研修を行うことや、外部講師も招聘した年間7回の授業研修（研究授業と協議会、講師からの講演）等により、授業改革が進んだ。
- ② 「校長経営戦略予算」加算配分を活用することで、特色ある学校づくりにも大きく貢献し、生徒が自分たちで決めて自分たちで取り組み、仲間・保護者その他の人々から高く評価されることで大きな成就感を持つことができた。

また、生活指導における教職員の指針を明文化し、これに基づいて更に協議を重ねて共通認識をもち、組織的な指導を行うことで、生徒や家庭から信頼感を得ることができてきた。これらが相乗効果を生み、本校の教育活動は大きくレベルアップした。

しかしながら、中期目標への方向性を過たず漸進しているものの、根本的な課題が克服できたわけではない。課題克服のための指針となる本計画も2年目を迎え、一層充実させる必要がある。上記2点について更に充実させるべく以下のように取り組み、本校教育の柱として中期目標の達成をめざす。

- ① 生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造することによって学力向上を図る。
- ② 生徒の自律を促すため、教職員が共通認識を持った組織的な生活指導を行うとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。

中期目標

【学校教育目標】

- 基礎・基本の充実を図り、自ら学ぶ態度の育成に努め、学力向上を図る。
- 他者への思いやりのこころを育て、人権尊重の精神を養う。
- 知・徳・体の調和の取れた人間形成に努める。

【視点 学力の向上】

- 基礎・基本の充実を図るため、全教員が習熟度別授業を含めた研究授業を行い、指導技術を向上させる。（マネジメント改革・学校サポート改革関連）
- H28年度全国学力・学習状況調査におけるA問題正答率を全領域で8割以上またはH24年度より10ポイント向上させる。（カリキュラム改革関連）
- 自ら学ぶ態度の育成に努め、H28年度全国学力・学習状況調査における「家で学校の宿題

(授業の復習)をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合をH24年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)

- 読書を勧める取り組みを充実させ、H28年度全国学力・学習状況調査で「読書は好きだ」の項目で「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合をH24年度より10ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道德心・社会性の育成】

- 他者への思いやりの心を育て、学校で認知したいじめについて解消に向けて100%対応し、H27年度暴力行為の発生件数をH24年度より減少させる。(マネジメント改革関連)
- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を向上させる。(ガバナンス改革関連)
- 美化活動に積極的に取り組む態度を養い、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を向上させる。(カリキュラム改革関連)
- H27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各学年の合計得点を、H24年度より向上させる。(ガバナンス改革関連)
- 健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を減少させる。(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 全教員が年1回以上、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造していく。(学校サポート改革・マネジメント改革関連)
- H24年度とH25年度の全国学力・学習状況調査の解答状況を比較分析し、つまづきを克服する指導を行う。(カリキュラム改革関連)
- H26学校アンケートの「家庭学習をしっかりしている」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える割合を生徒・保護者ともにH25年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- H25年度図書室の利用者増加の効果を生かし、学びにつながる読書活動を創造していく。(カリキュラム改革関連)

【視点 道德心・社会性の育成】

- 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組を一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。(マネジメント改革関連)
- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解

答を昨年度以上に向上させる。(カリキュラム改革関連)

- 美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。(カリキュラム改革関連)
- H25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査で課題のある種目の指導を強化し、男女とも運動能力を一層向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を更に減少させる。(カリキュラム改革関連)

大阪市立長吉中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

1. 学力の向上

(1) 授業研究を伴う校内研修の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【授業研究を伴う校内研修の充実】 学校や学校全体で行う校内授業研究会を中心にして「分かりやすい授業」を目指す。（マネジメント改革関連）	B
指標 全教員が指導案を作成して年に1回以上、校内授業を行う。	
取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 外部講師を招聘した校内授業研究会で、授業における生徒のつまずきを分析し、家庭学習の充実も含めてその克服を目指す。（マネジメント改革関連）	B
指標 外部講師を招聘した校内授業研究会を年5回以上行い、つまずきの総括を行い、情報を積み重ねる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
着実に生徒の“学び”を中心にした見方ができつつある。小グループを利用した対話活動の授業も増えている。外部講師の招聘によって、それらの成果が見られる。しかし、学びあいを高める課題設定と生徒の学びを中心とした授業の積み重ねが課題となっている。	

(2) 各教科

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【国語】 プリント等を用いて、漢字・語彙力の向上を目指す。（カリキュラム改革関連）	C
指標 定期テストにおいて漢字分野の正解率を昨年の67%以上にする。	
取組内容②【国語】 暗唱活動を通して、古文・詩歌などの伝統文学に親しませる。（カリキュラム改革関連）	B
指標 課題の文章をきちんと暗唱できる生徒を昨年の69%以上にする。	
取組内容③【国語】 読書に対する興味・関心を高め、読解能力の向上を目指す。（カリキュラム改革関連）	B
指標 長期休暇の課題で、読書感想文などの文章を書かせる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>各学年において、漢字プリントを用いて漢字学習を行う。</p> <p>定期テストの漢字分野における平均正解率は1年… 52%、2年… 67%、3年… 68%。 三学年での正解率は62%となっており、今後の定期テストで正答率の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生は「竹取物語」の暗唱を行い、69%が目標課題を達成する。 2年生は「枕草子」の暗唱を行い、70%が目標課題を達成する。 3年生は二学期期末テスト後「おくのほそ道」の暗唱を行う予定。 <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの課題として、1年生は「読書紹介文」、2年生は「読書感想文」を行う。 3年生は二学期期末テスト後に、文章読解をもとにした小論文を行う予定。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【社会】</p> <p>外部の授業研究会への参加と校内相互授業参観を通して「分かりやすい授業」を目指す。(マネジメント改革関連)</p>	B
<p>指標</p> <p>学期に1回以上相互に授業を参観し、生徒の評価で「分かりやすい」を昨年以上にする。</p>	
<p>取組内容②【社会】</p> <p>自作プリント教材等を作成して活用し、基礎学力の定着を図る。(カリキュラム改革関連)</p>	C
<p>指標</p> <p>自作の小テストを月に1回以上の頻度で行い、正答率50%以上を目指す。</p>	
<p>取組内容③【社会】</p> <p>生徒の興味と社会につながる課題学習に取り組む。(カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標</p> <p>課題学習を学期に1回以上取り組む。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>校内授業研究会を中心に授業を1学期に2回、2学期に1回相互に参観して「分かりやすい」授業を目指している。また、各学年で自作プリントも工夫をしながら基礎学力の定着を図っている。小テストは各学年で行っているが、行事関係で1・2年において実施できない月があった。今後計画的にする必要がある。また3年は復習プリントを課し、その中から出題する小テストのまめ正答率は75%ほど、1・2年は発展・応用的な小テストなので正答率は52%となっている。</p> <p>課題学習は研究授業で行っている。授業進度との関係で計画的に進める必要がある。</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【数学】</p> <p>ともに考えともに学び合う授業環境を作るための学習形態を工夫する。(カリキュラム改革関連)</p>	A

指標 少人数授業、班活動や個に応じた習熟度別授業を昨年より増やす。																						
取組内容②【数学】 つまづきを分析し、克服する指導として、単元ごとに小テストを行い、さらに基礎的・基本的な内容の定着を図る。(カリキュラム改革関連)	B																					
指標 定期テストの基礎的な内容の問題に関して、正答率60%以上。																						
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析																						
<p>全学年において、学習内容に応じて、コの字型やグループ学習を取り入れている。その結果、生徒たちの授業内容によるコミュニケーションが活発になってきている。</p> <p>2年生については習熟度別学習を全時間行っているが、2学期から基礎的内容の正答率が低い生徒への手だてとして基礎コースを全体の4割にした少人数授業にして、きめ細やかな指導を心掛けている。</p> <p>定期テスト平均点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1学期中間テスト</td> <td>1年</td> <td>58.6</td> <td>2年</td> <td>64.1</td> <td>3年</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>1学期末テスト</td> <td>1年</td> <td>51.9</td> <td>2年</td> <td>56.5</td> <td>3年</td> <td>52.7</td> </tr> <tr> <td>1学期中間テスト</td> <td>1年</td> <td>53.6</td> <td>2年</td> <td>57.0</td> <td>3年</td> <td>56.9</td> </tr> </table> <p>である。そのうち、基礎的内容の出題率はテストによって多少の差はあるが、7割程度である。よって、正答率は、現段階では60%を超えている。これを維持していくよう、継続して取り組みを進める。</p>		1学期中間テスト	1年	58.6	2年	64.1	3年	64.6	1学期末テスト	1年	51.9	2年	56.5	3年	52.7	1学期中間テスト	1年	53.6	2年	57.0	3年	56.9
1学期中間テスト	1年	58.6	2年	64.1	3年	64.6																
1学期末テスト	1年	51.9	2年	56.5	3年	52.7																
1学期中間テスト	1年	53.6	2年	57.0	3年	56.9																

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【理科】 実験・観察技能を習得させる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 生徒実験・観察などを年に15回以上の頻度で行う。	
取組内容②【理科】 視聴覚教材の活用を図る。(カリキュラム改革関連)	C
指標 1学期に1回以上の頻度で、視聴覚教材を取り入れた授業を行う。	
取組内容③【理科】 基礎学力定着のために、反復練習を行う。(カリキュラム改革関連)	B
指標 学力診断テストの正答率を45%以上、定期テストの正答率55%以上。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>[現時点での実験・観察回数]</p> <p>1年：8回 /2年：4回 /3年：15回</p> <p>[定期テスト平均点]</p> <p>1年：1学期中間 55.6 /1学期期末 45.9 /2学期中間 42.6 /平均 48.0</p> <p>2年：1学期中間 56.8 /1学期期末 48.1 /2学期中間 48.2 /平均 51.0</p> <p>3年：1学期中間 79.7 /1学期期末 61.3 /2学期中間 59.8 /平均 66.9</p> <p>これらの結果から、実験・観察などを行う頻度について、3年生はすでに達成しており、</p>	

1・2年生も概ね達成できるペースであると考えられる。視聴覚教材の活用については改善の余地があり、電子黒板やプロジェクターによるビジュアル支援、理科室での視聴覚機器の利用などを授業に取り入れていく。

定期テストの正答率については、現時点で3年生は達成しているものの、1・2年生はやや下回っている。これらを向上させるためにも、上記の実験・観察・視聴覚教材など学習に取り組みやすい教材を用いて授業を行う。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【音楽】 音楽への関心・意欲・態度を向上させる。意欲を高め、表現や鑑賞に積極的に取り組ませる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 忘れ物を昨年度より減らす。また音楽頑張りカードを毎時間書き、授業のねらい、目標を記入して明確にし、自己評価も書いて振り返りをさせる。提出物の提出率を総合で90パーセント以上にする。	
取組内容②【音楽】 音楽表現の創意工夫・技能を向上させる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 音楽表現のための基礎知識の定着を図り、表現に活かす。そして歌唱・器楽の技能を伸ばす。実技テスト合格率を参加者の90パーセント以上にする。実技の課題は怪我などの身体的事情に配慮しながら進める。	
取組内容③【音楽】 鑑賞の能力を向上させる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 より豊かに鑑賞曲の素晴らしさを味わうために、鑑賞曲に関する知識を身につけさせる。鑑賞曲の紹介文を書き、発表報告の場をもつ。鑑賞に関する提出物の提出率を参加者の90パーセント以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 提出物の提出率は3学年参加者総合で93%である。さらに提出率をあげていくよう、促していく。 ② 1学期の実技テスト合格率は3学年参加者総合で92%である。昨年度より、3年生でリコーダーのテストの課題曲を選択制にしているが、難易度の高い方に挑戦する生徒が増えつつある。合唱は学年を重ねるにつれて、合唱を楽しもうという気持ちが少しずつ高まりつつある。 ③ 1学期の鑑賞に関する提出物の提出率は、3学年参加者総合で93%である。楽曲の素晴らしさは感じ取っているが、それを文で表現することをさらに練習させていきたい。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【美術】 主体的に美術の活動に取り組み、心豊かに創造していく意欲と態度を高めるため	C

に自己評価と次回の目標を立てさせる。(カリキュラム改革関連)	
指標 美術カードを用いて自己評価と次回の授業目標を毎回立てさせる。学期末には総合した自己評価を行う。	
取組内容②【美術】 自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を養うためにスケッチの学習を取り入れる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 月に1度以上授業内に対象物のスケッチを行う。	
取組内容③【美術】 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高めるために鑑賞学習を行う。(カリキュラム改革関連)	B
指標 1学期に1度以上の頻度で互いの作品や名画の鑑賞を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①について：美術カードを用いることで自己評価と次回の目標を持てる生徒が増え、授業にも前向きに取り組む生徒の姿が多く見られた。しかし、毎回この美術カードを利用できている生徒もいれば、後片付けが間に合わず毎回行えていない生徒もいるので今後美術カードの徹底を目標に授業に取り組みたい。 取組内容②について：スケッチ学習に加えデッサンの練習を行うことで、表現力の向上につながっている。 取組内容③について：鑑賞学習は1学期に2度以上の頻度で行うことができ、他者の作品を見ることで自分の作品作りにつなげていくことができている。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【技術家庭科】 基礎的・基本的な授業内容の定着を図る。(カリキュラム改革関連)	B
指標 ノートやプリントなどの点検を月に1回以上実施し、助言を行う。	
取組内容②【技術家庭科】 生活をよりよくしようとする意欲と態度を育てるために、実践的・体験的な活動を多く取り入れる。(カリキュラム改革関連)	C
指標 作品の完成率を90%以上にする。	
取組内容③【技術家庭科】 グループ活動を多く設定し、生徒同士の意見交流の時間を多く設ける。(カリキュラム改革関連)	C
指標 単元ごとにグループ活動を行い、ワークシートを記入させ点検する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
ノートやプリントを月1回以上点検している。提出物を全員提出するように促すとともに、	

点検をした後、改善点の助言ができるようにしていきたい。

実習を多く取り入れているが、作品によっては完成率が70%～90%のばらつきがある。3学期に補習などを取り入れ、90%以上を目指していきたい。

実習の時間も含め月2回以上の割合でグループ活動を行っている。ワークシートの記入の時間をとれていない学年があるため、今後に取り入れていきたい。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【英語教育の強化】 単元ごとに文法テスト、単語テスト、音読テストを実施し、基礎基本的な内容の定着を図る。(カリキュラム改革・グローバル化改革関連)	B
指標 小テストの回数を昨年度以上おこなう。	
取組内容②【英語教育の強化】 身につけた基礎学力の活用をするための取り組みをおこなう。(カリキュラム改革関連)	B
指標 ペアワークを積極的に取り入れ、グループ学習を月に1回以上おこなう。	
取組内容③【英語教育の強化】 放課後の自主学習を実施し、個に応じた学習活動を支援する。(カリキュラム改革・学校サポート改革関連)	B
指標 放課後の自主学習の取り組みを年間5回おこなう。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本的な内容の定着を図るために、単語テストを中心に各学年で平均すると週一回程度（昨年と同様程度）実施できている。各学年の学習内容や生徒の実態に合わせているため、不定期・短期間での実施となっている部分もある。 ・身につけた基礎学力の活用をするためにペアで本読みや単語・文法の確認をおこなっている。グループ学習やC-NETとの会話練習を行うなど四技能を意識した活動を不定期ではあるが実施できている。 ・定期テストごとに放課後の自主学習の取り組みを実施できている。 	

(3) 自主学習習慣の確立

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【自主学習習慣の確立】 授業の予習・復習などに活用できる学習教材を提供する。(カリキュラム改革関連)	B
指標	

「家で学校の宿題（授業の復習）をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を昨年度より向上させる。	
取組内容②【自主学習習慣の確立】 放課後に自主学習を支援する場を計画的に提供し、体制を組んで学習活動を支援する。（カリキュラム改革・学校サポート改革関連）	B
指標 放課後の学習会を昨年度以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
平成 26 年度全国学力・学習状況調査において、「家で学校の宿題をしていますか」の肯定的回答率は 89.0%、また「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の肯定的回答率は 50.8%、そして、「家で、学校の復習をしていますか」の肯定的回答率は 49.1%である。また、1 学期学校評価アンケート「家庭学習に取り組めた」の肯定的回答は、1 年 59.3%、2 年 41.9%、3 年 43.5%であった。宿題のような家庭学習教材への意識は高いと判断できるので、家庭でできる学習教材をこれからも継続的に提供していく。 自主学習を支援する場として、昨年度と同様、元気アップ事業による学習会に限らず、テスト前を利用した学年や部活動による学習会を開催している。そして、学習形態や目的に応じて生徒は参加している。昨年度同様、夏休みに各学年、学習会を実施した。	

(4) 読書活動の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【読書活動の充実】 図書館への関心を高め、図書館の利用人数を増やす。（マネジメント改革関連）	C
指標 1 2 月までの図書館の利用人数を昨年度以上にする。	
取組内容②【読書活動の充実】 生徒の興味を引く本を増やし、図書館の貸し出し冊数を増やす。（カリキュラム改革関連）	B
指標 1 2 月までの貸し出し冊数を昨年度以上にする。	
取組内容③【読書活動の充実】 本の読み聞かせを行い、読書活動への関心を高める。（カリキュラム改革関連）	C
指標 1 2 月までに昨年度と同程度の読み聞かせを行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
前期は給食導入によって月水金の開館日のうち水曜日を放課後開館に変更したが、会議などのために開館できないことが多くあり、後期からは月水金すべての開館を昼休みに戻した。そのため、10 月の時点で 1034 名が図書室を利用しており昨年度の 1345 名を下回る結果となった。 ・利用人数は減ったが、読書習慣が付き、週に何冊も読む生徒が増え、100 冊以上読んでいる生徒もいる。そのため、10 月の時点で 1203 冊が貸し出され、昨年度の 1112 冊を上回る	

結果となった。

・昨年度、主に読み聞かせ活動を行っていた支援員がおらず、また外部から読み聞かせを行いに来てくれていた方との連絡がうまく取れなくなった。そのため、現時点では読み聞かせが行えておらず、今後元気アップ支援員と協力して改善していきたい。

2. 道徳心・社会性の育成

(1) いじめ・問題行動への対応

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【いじめ・問題行動への対応】</p> <p>担任と生徒との信頼関係を深め、生徒理解に努める。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 春、夏、冬と長期休暇後の3回、被害調査を行う。年2回以上は教育相談を行う。また、いじめ調査においては、年5回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【問題行動への対応】</p> <p>子ども自身で問題解決し、自己選択できるよう健全育成教育を行う。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 各学年、発達段階に応じて年間1回以上、全校生徒では年間3回以上、健全育成教育を行う。</p>	
<p>取組内容③【学校・家庭・地域の連携の推進】</p> <p>保護者や地域、関係諸機関と連携して、協力して指導していく。(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 月に1回生指連絡を行い、全教員が生徒の状況を把握できるようにする。また、各学期末には1回以上いじめ防止委員会を行っていく。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>春、夏の長期休暇後の2回、被害調査を行った。教育相談も1学期に1度行った。いじめアンケートは1学期に2回行った。生徒の実態を把握でき、指導に活かしている。</p> <p>健全教育に関しては、4月に『生活の確認』に関する全校集会、7月に交通安全教室と2回行った。今後、各学年で行う内容に関しては、検討していきたい。</p> <p>生指連絡は、職員会議後に月1回行い、いじめ防止委員会は7月に行った。教職員間で、共通認識を持つことができています。</p>	

(2) 人権を尊重する教育の推進

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【人権を尊重する教育の推進】</p> <p>生徒とのかかわりを第一に、地域・学校の特色を考慮した短期の取組みを多く計画・指導する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 学年・委員会などとの連携をはかった取り組みを行い、アンケートや感想文等により生徒の意識の把握に努める。</p>	B
<p>取組内容②【人権を尊重する教育の推進】</p> <p>道徳教育との連携し、様々な取り組みの中から本校にあった人権教育を考え、構築する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 人権教育交流会や実践交流会をはじめとした研修に多く参加する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	<p>授業時間・学級活動をはじめとして、学校生活（登下校・休憩時間・放課後）における日常的な取り組みの中で積極的に生徒と対話し、気持ちのふれあいを心がけた。</p> <p>トラブルに対しては即座に対応し、個別指導を行った。また、状況に応じて学級活動・学年集会・全校集会等の中で生徒への問題提起を行った。今後も学年・委員会を通じて学年間のさらなる連携に努め、教師間の共通理解をもとに取り組みを進める。</p> <p>定期的に行う生徒相談では、アンケートや感想文をもとに生徒各自に応じた相談を行っている。</p> <p>校内での活動の様子については、「学年だより」を発行して適宜紹介するとともに、家庭との協力・連携に努めている。</p>
②	<p>人権教育交流会 15名参加</p> <p>人権実践交流会 (11月17日)</p>

(3) 道徳教育の推進

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】</p> <p>社会性の育成を意識した仲間づくり（校外学習・文化祭等）を行い、参加型・体験型の学習を取り入れたカリキュラムを実施する。（カリキュラム改革・ガバナンス改革関連）</p> <p>指標</p> <p>学年・委員会などとの連携をはかった取り組みを行い、アンケートや感想文等により生徒の意識の把握に努める。</p>	B
<p>取組内容②【道徳教育の推進】</p> <p>社会の一員であることの認識をさせるため、奉仕活動を中心とした、地域交流に取り組む。（カリキュラム改革関連）</p> <p>指標</p> <p>ボランティア清掃（年1回以上）、職場体験、認知症講演会等を各学年で行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	<p>仲間づくりを意識した取り組みとして校外学習（修学旅行・一泊移住）で班活動・グループ活動を多く行った。その結果、平成26年度学校評価アンケートの「各学年で行った校外学習は、満足できた」の項目で67.3%、「学校には自分を大切にしてくれる人がいる。」の項目で67.8%の生徒が「よくあてはまる・ややあてはまる」と回答している。</p> <p>活動の様子については、適宜「学年だより」を発行して家庭に紹介している。</p>
②	<p>ボランティア清掃（1年生 12月）職場体験（2年生 11・12月）</p>

(4) 特別支援教育の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況

取組内容① 【特別支援教育の充実】 一人ひとりの実態に応じた指導・支援を行う。(カリキュラム改革関連)	B
指標 学期ごとに生活面、学習面の両面から個別の目標を設定し、それに基づいた指導を行う。	
取組内容② 【特別支援教育の充実】 特別支援教育の実践においては、全教職員で共通理解して行う。(マネジメント改革関連)	B
指標 各生徒の状況や個別の目標については、職員会議、特別支援教育連絡会、研修会などの機会を通じて、全教職員で情報を交換し、適切な関わり方について確認し合う。	
取組内容③ 【特別支援教育の充実】 保護者や関係諸機関との連携を取りながら、より適切な支援策を検討・実施する。(ガバナンス改革関連)	B
指標 「連絡帳」を通じて保護者と日常の様子を伝え合う。 「連絡帳」での意思疎通が難しいと思われる場合は保護者と直接会う機会を定期的に設ける。 関係諸機関と情報交換した内容は記録に残し、必要と思われることは職員会議や学年会などで報告する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒について、学期はじめにたてた目標に向かって指導を進めている。しかし、状況が厳しくなかなか前に進めない生徒もいる。そのようなケースについては、生徒の状況をよく見て無理をさせないように実態に即した対応を行っている。 ・関わり方に配慮が必要な生徒については、全体で確認しながら日々の指導に当たっている。 ・本人への直接のサポートが難しいケースは、定期的に保護者と連絡を取り、情報交換をして連携を取るよう努めている。 	

(5) 体験的学習の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体験的活動の充実】 生徒会活動を通して、学校より良くするための活動の場を作り、生徒一人一人の自主性、協調性を高める。 ・「長中ソーラン」を昨年度以上に充実させて体育大会で実施し、その様子を生徒によるビデオ撮影で記録し、文化祭で上映できる作品に仕上げる。 ・環境整備と作物を育て収穫する共同体験学習を合わせて目標とし、農園活動と「収穫祭」を実施する。(カリキュラム改革関連)	B
指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」「環境整備・美化活動にしっかり取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	

<p>取組内容②【体験的活動の充実】</p> <p>文化祭の一環として実施している芸術鑑賞において、古典芸能に親しむとともに、次年度以降の「長中ソーラン」の質的向上につなげていくため、日本の民謡や伝統的な楽曲を主体とする演奏を鑑賞し、合わせて生徒代表も参加できるものとする。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。</p>	
<p>取組内容③【体験的活動の充実】</p> <p>各学年で次のように体験的学習に取り組み、人権尊重の精神と社会性を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年 一泊移住・校外学習・百人一首大会・球技大会・地域清掃を実施し社会性や自主性を育成する。 ・2年 校外学習・百人一首大会・球技大会を実施し、社会性や集団行動で考える力を向上させる。 ・3年 修学旅行（民家泊を含む）・球技大会・水泳大会を実施し、生徒の自主性、協調性を高める。(カリキュラム改革関連) 	
<p>指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。</p>	
<p>取組内容④【進路指導】</p> <p>体験的学習を取り入れたキャリア教育を次のように推進する。</p> <p>1年 職業講話を実施し、自己の個性や生き方、将来の進路を見つめ、「働くこと」への関心・意欲の高揚と学習意欲向上を図る。</p> <p>2年 地域での職場体験学習を通して、勤労観・職業観の形成を図ると共に、規範意識やコミュニケーション能力などを習得させ、豊かな人間性を育成する。</p> <p>3年 高校見学会、説明会を通して、自らすすんで情報収集する能力を育てる。学校調べや仕事調べを通して、主体的に進路選択する能力態度を育てる。 (ガバナンス改革関連)</p>	
<p>指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組み内容①について</p> <p>長中ソーランにおいて演舞のフリ決めから構成、チーム分けなどすべて生徒主体で行った。文化祭には技術部による映像編集よって映像作品を上映することができた。また12月に行う収穫祭に向け、充実した農園活動も行っている。</p> <p>取組み内容②について</p> <p>芸術鑑賞において津軽三味線で南中ソーランを演奏してもらい、それに合わせ長中ソーランのダンスリーダーが演舞し、演奏者と演舞者、そして鑑賞者とが一体となり、今までにない芸術鑑賞を行うことができた。</p> <p>学校評価アンケートは2学期末に実施予定。</p> <p>取組内容③について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年 一泊移住を6月、校外学習を11月に実施。ともに学年・学級単位の活動と班単位の活動を設け、自主的に協力して活動するように促した。その中で、互いに違いがあるからこそ社会・集団の規律を守る必要があることも指導してきている。1 	

学期の学校評価アンケートの結果は「学校での生活は楽しい」の肯定的回答は87%、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的回答は60%、「校外行事は満足できた」の肯定的回答は83%であった。なお、地域清掃は12月、百人一首大会・球技大会は3学期に実施予定である。

・2年 校外学習を6月と11月に、球技大会を7月に、実施した。6月の校外学習は須磨海浜水族園での班活動での見学や、学級対抗のビーチフラッグ大会を楽しむことができた。11月の校外学習は、みかん狩りを実施した。自然の恵みに感謝しつつ、集団での責任を持った行動を考える場となった。球技大会では、係生徒による主体的な運営ができるように指導してきている。1学期の学校評価アンケートの結果は「学校での生活は楽しい」の肯定的回答は86%、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的回答は60%、「校外行事は満足できた」の肯定的回答は86%であった。

なお、今後も球技大会、百人一首大会などの学年行事を実施する予定である。

・3年 修学旅行は計画通りに実施。民泊・ラフティングの体験を通して大自然や人との貴重なふれあいを体験できた。また、選択体験として、溪流釣り・マウンテンバイク・カヌー・ツルクライミング・バームクーヘン作り・りんごジャム作り・アップルパイ作りを体験。自主的に行動することの楽しさを体験できた。球技大会は授業数確保のために1、2学期は実施していない。水泳大会は生徒の安全確保が困難であるとの判断から実施していない。1学期の学校評価アンケートの結果は「学校での生活は楽しい」の肯定的回答は82%、「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的回答は58%、「校外行事は満足できた」の肯定的回答は82%であった。

取組内容④について

- ・1年 職業講話を2月に実施予定である。
- ・2年 職場体験を12月に実施予定で、それに向けて2学期当初から取り組んでいる。
- ・3年 高校見学会・説明会に参加した生徒の延べ人数は11月21日現在で191名。生徒各自で高校までの交通手段などの必要な情報を調べて参加している。

(6) 美化・環境整備

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【美化・環境整備】 自ら進んで校内美化に取り組む態度を養う。(カリキュラム改革関連) ----- 指標 日常の清掃活動が円滑に行われるように指導を徹底し、年間で5回の大清掃を実施する。	B
取組内容②【美化・環境整備】 自分たちの身の回りの物を大切にすることを養う。(カリキュラム改革関連) ----- 指標 教室の備品の正しい使い方について指導する。 学期ごとに破損チェックを行い、校内の施設が整備されている状態を保つ。	B
取組内容③【美化・環境整備】 学校内の緑化を推進する。(カリキュラム改革関連) ----- 指標 環境委員会が中心となって、校内の花壇を整備・管理する。	B

<p>花壇の植物について興味関心を持ってもらえるように広報活動をする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃は定着しており、ほとんどの生徒がまじめに取り組んでいる。大清掃も前期で3回計画通り全員参加で実施され、日ごろは行き届かない場所の清掃も行っている。 ・ 清掃用具や校内備品を雑に取り扱って破損させてしまうなどの事例はほとんどなく、備品は大切に扱われている。 ・ 環境委員で当番を決めて、水やりや雑草ぬきなどを自主的に行っている。 	

3. 健康・体力の保持増進

(1) 体育的活動の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【体育的活動の充実】</p> <p>体育大会で生徒の自主的・主体的な取り組みを充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会での係生徒の役割を整理する。 ・長中ソーランの取り組み開始時期を前年度よりも早める。(カリキュラム改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。 ・参加生徒アンケートを実施し自己評価を文章表記で行える生徒の割合80%を目指す。 	C
<p>取組内容② 【体育的活動の充実】</p> <p>授業で講師として外部指導者を招へいし、新しいスポーツを体験的に学んで運動能力向上や体力増進に役立てるとともに、体育的行事を充実させる。(学校サポート改革関連)</p> <p>指標 体育的行事ごとにアンケートを実施し肯定的意見80%を目指す。</p>	C
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>体育大会において、今年度より係生徒数の役割を整理することで効率化が図れた。来年度以降、係生徒がさらに自主的・主体的な取り組みができるようにしていく。</p> <p>体育大会において、長中ソーラン参加者にアンケートを行った結果、以下のような肯定的な意見が多かった。また、指標となる80%以上の生徒が文章表記で自己評価を行えた。</p> <p><長中ソーランアンケート結果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的に考え行動し、意欲的にソーランに取り組むことができたか？ <ol style="list-style-type: none"> ① そう思う…52人 ② どちらかと言えばそう思う…31人 ③ 思わない…2人 2. メンバー全員で協力し、全力でソーランを踊りきることができたか？ <ol style="list-style-type: none"> ① そう思う…56人 ② どちらかと言えばそう思う…24人 ③ 思わない…2人 3. 自分は長中ソーランのメンバーとして学校をよくすることができたと思うか？ <ol style="list-style-type: none"> ① そう思う…43人 ② どちらかと言えばそう思う…35人 ③ 思わない…3人 4. 4代目長中ソーランもしたいと思いませんか？ <ol style="list-style-type: none"> ① そう思う…60人 ② どちらかと言えばそう思う…15人 ③ 思わない…7人 <p>学校評価アンケートについては、生徒へのアンケートを行い次第分析をする予定である。また、外部指導者を招へいした体育的活動については、現時点で実施していない。今後2学期末、3学期に行うことを計画している。</p>	

(2) 体育科の授業の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【体育科の授業の充実】	B

<p>体育授業において、チームティーチング、少人数指導を充実させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全学年の授業をチームティーチングや少人数指導を行い、昨年度以上に充実させる。</p>																																																			
<p>取組内容② 【体力向上への支援】</p> <p>体力向上のために日々の活動量を増やし、昨年度新体力テストで全国平均以下であった種目の数値の向上、全体平均の向上をめざす。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 新体力テストの結果が、前年度以上の数値となるよう、チームティーチングや少人数指導を行うことで日々の活動量を増やし、体力の向上を図る。</p>	B																																																		
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>																																																			
<p>2年生では単学級授業による少人数指導を展開してきた。また、1・3年生においてはチームティーチングを行い、生徒の個々の段階に応じた指導を行うことができた。</p> <p>また、体力テストでは、調査対象の2年生男子において、前年度の結果と比べると、立ち幅跳び以外の全項目で平均を上回った。また、長座体前屈、50m走の項目では大阪市・全国平均ともに上回る結果となった。2年生女子では、握力を除く全項目で前年度より上回り、同様に全項目で大阪市平均を上回った。また、握力、上体起こし、立ち幅跳びを除く項目で全国平均を上回った。</p>																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>男子</th> <th>握力</th> <th>上体</th> <th>長座</th> <th>反復</th> <th>シャトル</th> <th>50m</th> <th>立ち幅</th> <th>ハンド</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>26.97</td> <td>26.02</td> <td>44.14</td> <td>53.44</td> <td>79.52</td> <td>8.04</td> <td>184.03</td> <td>19.90</td> <td>38.21</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>25.94</td> <td>24.93</td> <td>38.06</td> <td>47.96</td> <td>75.63</td> <td>8.41</td> <td>187.71</td> <td>18.19</td> <td>35.80</td> </tr> <tr> <td>大阪市</td> <td>29.52</td> <td>27.12</td> <td>40.76</td> <td>49.98</td> <td>83.27</td> <td>8.13</td> <td>189.16</td> <td>20.66</td> <td>40.28</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>29.21</td> <td>27.58</td> <td>43.11</td> <td>51.08</td> <td>84.98</td> <td>8.04</td> <td>193.68</td> <td>21.01</td> <td>41.78</td> </tr> </tbody> </table>		男子	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立ち幅	ハンド	合計	H26	26.97	26.02	44.14	53.44	79.52	8.04	184.03	19.90	38.21	H25	25.94	24.93	38.06	47.96	75.63	8.41	187.71	18.19	35.80	大阪市	29.52	27.12	40.76	49.98	83.27	8.13	189.16	20.66	40.28	全国	29.21	27.58	43.11	51.08	84.98	8.04	193.68	21.01	41.78
男子	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立ち幅	ハンド	合計																																										
H26	26.97	26.02	44.14	53.44	79.52	8.04	184.03	19.90	38.21																																										
H25	25.94	24.93	38.06	47.96	75.63	8.41	187.71	18.19	35.80																																										
大阪市	29.52	27.12	40.76	49.98	83.27	8.13	189.16	20.66	40.28																																										
全国	29.21	27.58	43.11	51.08	84.98	8.04	193.68	21.01	41.78																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>女子</th> <th>握力</th> <th>上体</th> <th>長座</th> <th>反復</th> <th>シャトル</th> <th>50m</th> <th>立ち幅</th> <th>ハンド</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>22.83</td> <td>22.56</td> <td>47.85</td> <td>49.80</td> <td>60.78</td> <td>8.78</td> <td>163.72</td> <td>14.74</td> <td>48.43</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>24.09</td> <td>21.11</td> <td>45.72</td> <td>43.65</td> <td>55.70</td> <td>8.89</td> <td>163.72</td> <td>14.55</td> <td>47.24</td> </tr> <tr> <td>大阪市</td> <td>24.16</td> <td>22.45</td> <td>43.56</td> <td>44.40</td> <td>55.54</td> <td>9.05</td> <td>163.23</td> <td>13.07</td> <td>47.03</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>23.76</td> <td>23.03</td> <td>45.12</td> <td>45.27</td> <td>57.20</td> <td>8.88</td> <td>166.18</td> <td>12.97</td> <td>48.42</td> </tr> </tbody> </table>		女子	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立ち幅	ハンド	合計	H26	22.83	22.56	47.85	49.80	60.78	8.78	163.72	14.74	48.43	H25	24.09	21.11	45.72	43.65	55.70	8.89	163.72	14.55	47.24	大阪市	24.16	22.45	43.56	44.40	55.54	9.05	163.23	13.07	47.03	全国	23.76	23.03	45.12	45.27	57.20	8.88	166.18	12.97	48.42
女子	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立ち幅	ハンド	合計																																										
H26	22.83	22.56	47.85	49.80	60.78	8.78	163.72	14.74	48.43																																										
H25	24.09	21.11	45.72	43.65	55.70	8.89	163.72	14.55	47.24																																										
大阪市	24.16	22.45	43.56	44.40	55.54	9.05	163.23	13.07	47.03																																										
全国	23.76	23.03	45.12	45.27	57.20	8.88	166.18	12.97	48.42																																										
<p>以上の結果より、前年度以上の平均値を出し、全体平均も上がった。今後もチームティーチングや少人数指導を行い、個々の段階に応じた指導や日々の活動量を確保できるような授業を展開していく。</p>																																																			

(3) 健康な生活習慣の確立

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容① 【健康に関する現代的課題への対応】</p>	B

<p>来室統計をもとに、実態に即した疾病やけが予防の情報を発信する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 毎月1回の来室統計を発行し、ほけんだよりを月1回以上発行する。</p>	
<p>取組内容② 【健康な生活習慣の確立】 生活習慣や行動を振り返り、自身の健康課題に対して考え、疾病やけがの予防の指導を行う。(カリキュラム改革連)</p>	C
<p>指標 来室者へ、来室カードによる振り返りを行い指導する。</p>	
<p>取組内容③ 【健康な生活習慣の確立】 個別の健康診断結果一覧を発行し、疾病の予防と早期治療を促す。(カリキュラム改革関連)</p>	C
<p>指標 治療勧告書を学期に1回以上発行するとともに、個別指導を実施し未治療率を昨年度より減少させる。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① 毎月来室統計を作成し、教職員へ保健室利用状況やけがの発生状況を共有、疾病・けが予防を呼びかけた。また、統計をもとに毎月ほけんだよりを作成し、情報発信している。特に、けがの来室、医療機関受診件数が昨年度より減少している。</p> <p>② 来室カードの情報をもとに、健康課題別資料を作成し来室生徒への個別指導を実施している。まだ、特定の生徒にしか活用できていないため、継続して指導をしていく。</p> <p>③ 個別の健康診断結果一覧を作成し、1学期懇談時に保護者へ配布した。今年度は、結果一覧と治療勧告書を合わせて配布し、早期治療を促した。</p> <p>受診率は、1年45%、2年42%、3年54%、全体で47%と未治療者が多い。特に歯科の受診率が低く改善が必要。1年生は、3学期に歯と口の健康教室を実施予定。</p> <p>個別指導を含め、継続して治療勧奨していく。</p>	